

担い手農業者の今後の経営方針、「生産規模拡大」が4割超 ～新技術や新品種の導入にも前向き姿勢～ ＜日本公庫・平成26年下半期農業景況調査(特別設問)＞

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業が、ご融資先である担い手農業者^(注1)を対象に平成27年1月に実施した「平成26年下半期農業景況調査」で、今後の経営方針について聞いたところ、「現状維持」回答の農業者が25.7%だったのに対し、「生産規模拡大」を行うとする農業者は46.2%と4割を超えたほか、「新技術の導入」が36.1%、「新品種の導入」が30.5%と、多くの担い手農業者が今後の経営展開に前向きな姿勢であることが明らかになりました。調査結果の詳細は以下のとおりです。

＜調査結果のポイント＞

○「生産規模拡大」が最多、特に稲作、畑作で高い

「生産規模の拡大」については、46.2%と回答割合が最も高かった。

業種別では、畑作（56.0%）、稲作（都府県 54.6%）といった土地利用型の業種では回答者の半数を超えた。特に、稲作は今後の景況見通しD Iが北海道（▲67.1）、都府県（▲61.0）と低迷する中にあっても、高い結果となった。

○「新技術の導入」は畑作と養豚、「新品種の導入」は果樹と施設花きで高い

「新技術の導入」については、ICT技術^(注2)を活用した機械の利用が今後見込まれる畑作（48.8%）、飼料給与方法の工夫などが見込まれる養豚（46.4%）や性別判別技術が普及しつつある酪農（北海道：43.3%、都府県：40.5%）で高い結果となった。

「新品種の導入」については、施設花き（57.7%）、果樹（46.2%）などの業種で高い結果となった。また、稲作でも比較的高い結果（北海道：36.9%、都府県：29.9%）が示されており、生産規模を拡大するにあたって、収穫時期が異なる品種や食味の良い品種などの導入が更に進むことが推察される。

○「販路開拓（消費者への直販）」は耕種部門で高い

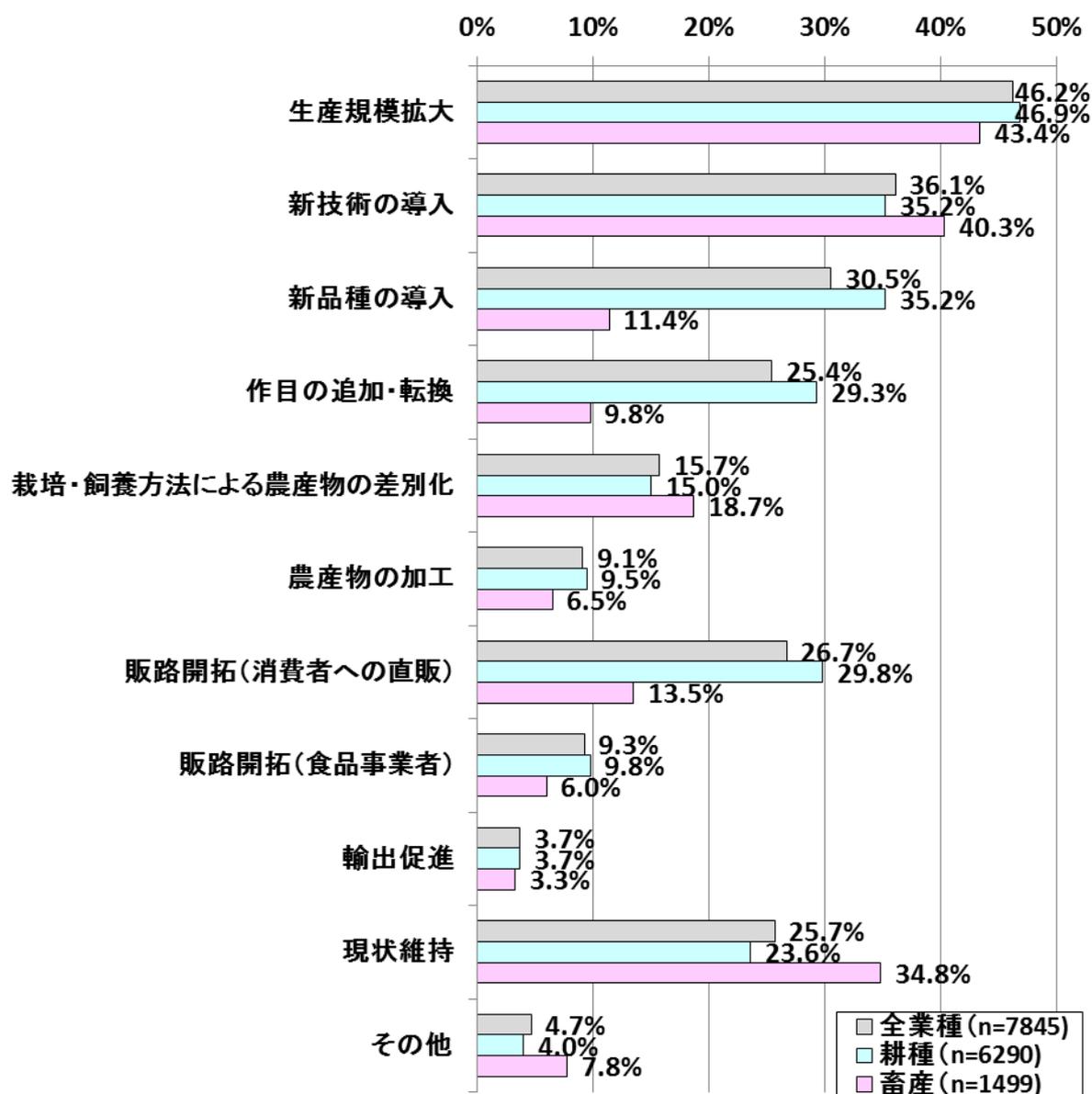
「販路開拓（消費者への直販）」については、茶（47.0%）、果樹（43.3%）、稲作（都府県 38.1%）で高い結果となったのに対し、採卵鶏（48.6%）を除く畜産部門について耕種部門と比較して総じて低い結果となったのは、自ら処理・加工することが難しいという面もあるものと推察される。

(注1) 認定農業者等の経営改善の取組を後押しするスーパーL資金又は担い手農業者の新たな取組を支援する農業改良資金のご融資先

(注2) Information and Communication Technology の略称で、情報処理及び情報通信に関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称

調査時期	平成27年1月
調査方法	往復はがきによる郵送アンケート調査
調査対象	スーパーL資金又は農業改良資金のご融資先のうち22,666先
有効回答数	7,966先(回収率:35.1%)

図 今後の経営方針について検討していること（3つまで回答）



(注) 分類不可能な事業体については耕種、畜産の合計から除く

(参考) 稲作の景況 D I

	H25年	H26年	H27年
	実績	実績	通年見通し
稲作 (北海道)	▲ 4.2	▲ 67.2	▲ 67.1
稲作 (都府県)	▲ 10.2	▲ 71.0	▲ 61.0

表 今後の経営方針について検討していること（業種別一覧）（3つまで回答）

	生産規模拡大	新技術の導入	新品種の導入	作目の追加・転換	栽培・飼養方法による 農産物の差別化	農産物の加工
全業種 (n=7845)	46.2%	36.1%	30.5%	25.4%	15.7%	9.1%
耕種 (n=6290)	46.9%	35.2%	35.2%	29.3%	15.0%	9.5%
畜産 (n=1499)	43.4%	40.3%	11.4%	9.8%	18.7%	6.5%
稲作(北海道 n=984)	46.0%	37.0%	36.9%	32.8%	10.4%	5.6%
稲作(都府県 n=2267)	54.6%	31.9%	29.9%	31.1%	15.0%	10.5%
畑作(n=678)	56.0%	48.8%	40.4%	33.2%	11.1%	6.6%
露地野菜(n=630)	48.3%	34.3%	36.3%	32.4%	16.7%	9.8%
施設野菜(n=566)	38.2%	41.0%	33.4%	19.4%	16.1%	10.2%
茶(n=219)	35.2%	19.6%	20.5%	17.4%	24.7%	10.0%
果樹(n=383)	25.3%	26.6%	46.2%	21.9%	18.0%	17.2%
施設花き(n=246)	25.6%	33.7%	57.7%	31.7%	14.6%	3.3%
きのこ(n=82)	28.0%	37.8%	30.5%	13.4%	28.0%	24.4%
酪農(北海道 n=312)	42.6%	43.3%	9.9%	7.1%	11.9%	2.6%
酪農(都府県 n=316)	40.5%	40.5%	8.9%	14.6%	13.9%	7.6%
肉用牛(n=405)	47.2%	37.8%	11.1%	13.6%	26.7%	4.0%
養豚(n=237)	47.7%	46.4%	21.5%	6.8%	18.6%	8.9%
採卵鶏(n=109)	32.1%	29.4%	3.7%	1.8%	22.9%	13.8%
プロイラー(n=63)	44.4%	38.1%	4.8%	4.8%	19.0%	9.5%

	販路開拓 (消費者への直販)	販路開拓 (食品事業者)	輸出促進	現状維持	その他
全業種 (n=7845)	26.7%	9.3%	3.7%	25.7%	4.7%
耕種 (n=6290)	29.8%	9.8%	3.7%	23.6%	4.0%
畜産 (n=1499)	13.5%	6.0%	3.3%	34.8%	7.8%
稲作(北海道 n=984)	25.5%	8.4%	2.7%	29.8%	5.2%
稲作(都府県 n=2267)	38.1%	9.0%	3.3%	19.3%	3.8%
畑作(n=678)	11.4%	8.8%	1.0%	24.9%	2.7%
露地野菜(n=630)	20.0%	13.3%	1.6%	25.1%	3.8%
施設野菜(n=566)	23.5%	10.6%	5.3%	27.6%	3.5%
茶(n=219)	47.0%	14.6%	21.0%	20.1%	8.7%
果樹(n=383)	43.3%	13.8%	5.0%	24.3%	2.9%
施設花き(n=246)	24.8%	2.8%	3.3%	28.5%	4.5%
きのこ(n=82)	35.4%	25.6%	1.2%	11.0%	4.9%
酪農(北海道 n=312)	3.8%	1.0%	1.9%	45.8%	11.2%
酪農(都府県 n=316)	7.6%	3.2%	0.6%	40.5%	6.0%
肉用牛(n=405)	14.1%	4.7%	8.6%	29.6%	6.2%
養豚(n=237)	14.8%	9.3%	1.7%	27.4%	8.4%
採卵鶏(n=109)	48.6%	26.6%	1.8%	25.7%	7.3%
プロイラー(n=63)	12.7%	3.2%	0.0%	33.3%	3.2%

(注1) 分類不可能な事業体については耕種、畜産の合計から除く

(注2) カッコ内の数字は回答数を示す